



里山の材木を薪に ハサンベツ里山作業日

第4回ハサンベツ里山作業日が8月9日、ハサンベツ里山センターで行われ、町民など約30人が参加しました。参加者は3組に分かれて、ミズバショウの苗から雑草を取り除いたり、苗を移し替えたりしたほか、河川整備を行いました。また、チェーンソーや薪割り機を使って薪を作りました。ハサンベツ里山作業日の次回開催日は9月13日の予定です。



生き物と共存できる川に 雨煙別川いい川づくりシンポジウム

雨煙別川いい川づくりシンポジウムが8月22日、総合福祉センター「しゃるる」で行われ、関係者など約40人が参加しました。はじめに、空知総合振興局札幌建設管理部岩見沢出張所施設保全室の八幡和則室長が、雨煙別川の環境や現在の整備状況についてを説明。また、一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長が川の生物や魚道整備などについて講演しました。



悲しみの歴史を繰り返さないために 中国人殉難者供養会

中国人殉難者供養会が8月7日、日出の法隆寺で行われ、関係者など約30人が参加しました。第二次世界大戦末期に角田炭鉱で尊い命を失った中国人の方々を追悼しようと昭和47年から毎年実施しています。実行委員長の佐々木学町長は「戦争という深い悲しみの歴史を再び繰り返さないため、恒久平和を誓います」と慰霊の言葉を述べ、参列者全員で冥福を祈りました。



戦後75年恒久平和を願う 栗山町戦没者追悼式

戦没者追悼式が8月20日、農村環境改善センターで行われ、遺族や関係者など約60人が参加し、戦没者に祈りを捧げました。国歌演奏と黙とうの後、佐々木学町長は「栗山町のまちづくりは、戦没者の皆さまが築き上げた尊い礎の上に成り立っている。ふるさと栗山の発展のために日々渾身の努力をすることを誓います」と式辞を述べ、恒久平和を願いました。



子どもたちのトラブル防止のために 栗山町広域補導連絡協議会夏季研修

栗山町広域補導連絡協議会の夏季研修会が8月6日、総合福祉センター「しゃるる」で行われ、小・中・高校のPTAや、防犯協会、少年補導員連絡協議会など、36人が参加。SNSの危険、事件・事故、薬物などから子どもたちを守ることをテーマに、栗山警察署生活安全課の松本直樹課長が講演しました。



角田・継立小学校のグラウンドを整備 井沢建設株式会社・共立道路株式会社が奉仕活動

井沢建設株式会社が8月4日に継立小学校のグラウンドを、また、11日には共立道路株式会社が角田小学校のグラウンドをボランティアで整備しました。両校とも9月に行われる運動会のために実施したもので、100m走などの陸上競技用コースの草取りやロードローラーなどの重機による整地作業を行いました。



夏の新鮮野菜で賑わう JAそらち南農産物即売会

JAそらち南主催による農産物即売会が8月1日、JAそらち南駐車場で行われました。会場では、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、開場と同時に新鮮野菜を買い求める人で賑わいました。北輝男代表理事組合長は「本州は自然災害によって農産物の収穫に影響を受けているが、栗山町は順調に生育している。秋には収穫祭を計画している」と話していました。



- ① 継立小学校のようす (井沢建設株式会社)
- ② 角田小学校のようす (共立道路株式会社)

